




いぶき 第3号
 発行者 原田 英雄
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌年4回発行
<http://www.kagawah.rofuku.go.jp>



4 F 屋上庭園から丸亀城を望む

痛みの話

第二麻酔科部長 北浦 道夫

痛みには大きく分けて急性の痛みと慢性の痛みがあります。急性の痛みは、身体に何か異常がおこっていることを知らせるための警報信号です。痛みを治療すると同時に、痛みの原因を見つけてはなりません。いかにいけば、痛みの原因が無くなれば消失する痛みです。慢性の痛みとは、痛みの原因がなくなっても消失しない痛みです。身体にとつていいことは何もありません。もはや警報の意味はありません。私達を苦しめ悩ませ続けるだけの意味がありません。また、痛みとは主観的な経験から成り立つものであり、感情的な苦痛です。したがって、痛みは本人にしかわかりません。

我々の行っているペインクリニックは、「痛み」の診断、治療を行う専門診療科です。痛みを訴える患者さんは多いので、すべてペインクリニックで治療を行うかと思われませんが、そうではなく神経ブロック法を用いて疼痛の診断と治療を行うものです。ペインクリニックの治療手段は大きく分けて理学療法、薬物治療、神経ブロック、疾患によっては手術など4種類あります。このうち神経ブロックは、ペインクリニックの大きな特色です。神経ブロックは、痛みを伝える知覚神経や交感神経に局所麻酔薬を注射することで、激しい痛みを鎮める治療法です。注射は普通数回で済む場合が多く、痛みがとれ、血行が改善することで痛みの元になる神経や靭帯、関節の炎症がおさまる自然に治っていきます。その場しのぎの痛み止めではありません。この神経ブロックは必ずしも痛みの治療だけに有効なものではなく、たとえば顔面神経麻痺や顔面神経の痙攣(けいれん)・手足の冷え・突発性難聴などに

も有効です。神経ブロックは、血流を改善し人間が本来持っている自然治癒力を助けます。ヘルペス後神経痛、三叉神経痛などを代表とする慢性神経痛は、痛みも強く薬も効きにくいいため、専門的な治療が必要となります。神経痛以外にも、頭痛、肩や首の痛み、腰痛、椎間板ヘルニア等、急性・慢性の痛みで日常生活に支障が起る場合はペイン

かかりつけのお医者さまを持つといいですよ

医事課長 桐生 勝幸

熱があつたり、お腹が痛かつたりした場合、かかりつけの開業医のお医者さまをお持ちですと安心です。長い間、診ていただいていますと身体のを把握して下さっているのです、どんな時でも総合的に判断してくださったり、さらには心のケアまでもして下さいます。当院では丸亀市医師会、多度津医師会、坂出市医師会、丸亀市歯科医師会の先生方と病診連携を結んでおり、開業医の先生からFAXによって前もって病診連携へご紹介いただきます。診察においていただく日時について、こちらから紹介して

くださった先生と連絡を取ってクリニクの診療対象です。また、病気によっては他科を紹介し適切な検査治療をお勧めさせていただきます。もともと神経ブロックは、麻酔科学の理論と技術を痛みの治療に応用してきたものですから、日本では麻酔科の医師が中心となって治療を行っています。痛みを悩まれている方がおられましたら、是非一度お越しください。

おりますので、当日の待ち時間が少なくて受診していただけます。当日は紹介状を忘れないようご注意ください。診察の結果、診察した医師から、患者さまの同意のもと、ご紹介して下さった先生宛に診療の情報をお伝えして、引き続き安心して、かかりつけのお医者さまに診ていただくように気配りしております。これからも当院では、みなさまのかかりつけのお医者さまと連絡を取り合っており、みなさまの身体をお守りしていきたいと考えておりますので、どうぞ、かかりつけのお医者さまを大事になさって、安心した日々をお過ごしください。

より信頼される検査科を

検査科技師長 影山 洋吉

患者様の皆様、検査科って何を行っているところかご存じですか？

私たち検査科は、臨床の先生方が皆様の病気の診断や治療を判断しやすくするために、皆様の血液（血液で調べることは一杯ありまして、血液検査・生化学検査・免疫血清検査などがあります）や尿や心電図などの検査を行っているところです。皆様とは心電図検査や検尿検査の

時、直接お会いしています。それと、皆様とは直接お会いすることはないので、細菌検査や病理・細胞診検査も行っています。先生が「じゃ、痰を採って調べてみましょう」とか、「細胞を採って調べてみましょう」とか話される検査はここで調べられるのです。

原田病院長が『いぶき』創刊号のなかで「一般的にですけれども病院に求められることとして

太陽の様に明るく、夜空の星の様に輝いている東3病棟は、泌尿器科と耳鼻科がメインの混合病棟です。耳鼻科は、頭・頸部を主とした大きな手術を行っています。

また、泌尿器科は、手術件数が全国労災病院の中でトップであり、年始めより大きな手術が毎日の様に行われています。更に、結石治療である体外衝撃波碎石術も、同様に行われています。

治療に対する期待や不安など、様々な思いを持って入院される患者様に対し、私達は、めまぐるしいスケジュールの中でも、充分話を聞き、安心して入院生活が送れるよう、ひまわりの様な笑

私たちの職場

看護婦 糸川美恵子



顔を絶やさず、頑張っています。

また当院は、腎移植指定病院に認定されており、定期的に勉強会を行い、日々トレーニング

との信頼関係も厚く、強い絆で結ばれています。

病気を克服し、退院される患者様の後ろ姿を見させていただいた時、いちばん幸せを感じます。

私達は、看護婦百選に選ばれたく、目の下のたるみも笑いじわに変え、眉の形までこだわり、日々、鏡とにらめっこしています。笑顔がステキな、ちよっぴり太めの18名の天使が、いつでもご待っています。

て①親切②説明③素早さ④サービス」とご指摘されています。検査科は、ときにはコンピュータや分析器のトラブルで迷惑をおかけしてしまうこともあります。『親切に』と『正確により速く』と『明るさ』をモットーに、臨床の先生や皆様により信頼されるよう、スタッフ

貧血の食事療法

貧血の大部分は、ヘモグロビン（体中に酸素を運ぶ働きをする）の材料である鉄分が不足する

みんな頑張っています。

患者様に「あの病院に行って、本当に良かった」と言っていただけのように、病院スタッフの一人としてこれからもますます努力して行きたいと思っています。『いぶき』をお読みの患者様の皆様、私たちに気軽に声をかけて下さい。

主任栄養士 奥村 誠子

る鉄欠乏性貧血です。成人女性の約10%は鉄欠乏性貧血であり、約40%は鉄欠乏状態（貧血予備軍）であるといわれています。そこで、鉄欠乏性貧血予防のための食事についてあげてみました。

①鉄と良質の蛋白質を摂りましょう。

鉄は蛋白質のグロブリンと結合してヘモグロピンを作ります。食品に含まれる鉄分には、「ヘム鉄」と「非ヘム鉄」の2種類があります。魚や肉に含まれる鉄分がヘム鉄、野菜や穀類に含まれる鉄分が非ヘム鉄です。ヘム鉄は非ヘム鉄に比べて、数倍も腸での吸収がよいのです。ただし、非ヘム鉄も動物性蛋白質と一緒に

に摂ると吸収がよくなりやす。献立しだいで、捨てたものではありません。

②ビタミン類やミネラル類を十分に摂りましょう。

造血作用のあるビタミンB12・B2・B6・葉酸と鉄の吸収をよくするビタミンCを多く含む食品を食べましょう。また、ミネラルのうち銅は、貯蔵鉄の動員作用があり、造血作用をします。

③一日3食を規則正しく食べましょう。

欠食をすると必要な栄養素を十分には摂りにくく、少ない回数で一度にたくさん食べると胃腸に負担をかけることになりやす。また、よくかんで食べることも、胃酸の分泌を促進して、鉄分の吸収をよくしてくれやす。

④加工食品の偏りに気をつけましょう。

インスタント食品には、トリポリリン酸塩が添加してあるものがあります。これは、消化器内で鉄と結合し、鉄の吸収を悪くします。

⑤食前・食後の緑茶・コーヒー・紅茶に含まれるタンニンが鉄の吸収を悪くするので気をつけましょう。

「院外処方箋全面発行について」

薬剤部長 平松 龍磨

現在、国(厚生労働省)では、質の高い医療サービスの向上、高齢化社会に対応した安全で適切な薬の服用、国民医療費の適正化を目指し、積極的に「医薬分業」を推進しています。当院でも、この指導を受け、よりよい医療を行う為、平成14年4月1日より全面本格実施することと致しました。この「医薬分業」とは、医師・歯科医師の処方箋に基づき、調剤薬局(院外の保険薬局)の薬剤師が、処方の確認をした上で薬歴管理、適切な指導を加えて患者様に薬を交付するというシステムです。患者様における医薬分業制度の長所

としまして、①かかりつけ薬局における薬歴管理により、重複診療科受診による重複投薬、相互作用のチェックが可能であり、丁寧な服薬指導が受けられ、副作用を防止し易い患者様の為のシステムです。②病院などにおける患者様の待ち時間の短縮などが上げられます。又、短所としまして、①患者様が、保険薬局へ処方箋を持参(いわゆる二度手間)。②患者様の一部負担金が高くなります。これは、院外処方と院内処方とは、基本的に調剤報酬及び診療報酬の制度が異なるからです。従って、院外処方では処方箋料(診療報酬)

お知らせ

労災病院公開健康講座

日時 3月28日(木)

午後1時30分～午後3時

会場 労災病院管理棟会議室3F

演題 「脳卒中はこわくない」

講師 脳神経外科部長

脳神経外科病棟部長 藤本俊一郎

田辺 共子

M S W 多田羅喜代美

5月16日(木)

8時45分から15時

看護の日

5月16日(木)

8時45分から15時

風薫る季節。日増しに暖かさを感じる今日この頃、「いぶき」第3号

編集だより 患者サービス向上委員会 大西 清子

をお届けする運びとなりました。創刊号、第2号に続いて今回も患者さまのお役に立つような情報と掲載致しましたので、ご愛読下さい。かねてより患者サービス向上委員会では、広報誌「いぶき」を、患者さまと病院を結ぶ情報交換の場として生かしたいと考えておりました。

そこで、今回ご自由に記入できる用紙を綴じこみましたので、皆様のご意見ご要望など、どしどしお寄せください。今後も「生きた情報」をお伝えするよう努力していきます。

会場 労災病院1階ロビー

内容 ①ふれあい看護体験

皆様に医療・看護の現場見学や、実際のケアを体験していただきます。(参加募集は4月上旬から中旬)

②入院患者様にメッセージカードとお花のプレゼント

③各病棟紹介、子供たちの絵画、介護用品の展示

④医療チームによる健康相談

⑤検尿、骨密度測定、体脂肪測定、血圧測定

日頃の健康管理にご利用下さい

申込先 庶務課

毎月第1週から第4週の金曜日

糖尿病教室

毎月第4金曜日の午後3時から1時間程度です。

講師 副院長 多田 慎也

3月 気管支喘息について

4月 喘息を克服する

5月 肺気腫について

の午後3時から1時間です。

第1週 糖尿病とは何か? (講師 岡本内科医師)

第2週 糖尿病の食事療法 (講師 平田栄養管理室長)

第3週 糖尿病の合併症 (講師 岡本内科医師)

第4週 糖尿病のある生活・運動と薬 (講師 理学療法士・薬剤師・看護婦)

息切れ教室

毎月第4金曜日の午後3時から1時間程度です。

講師 副院長 多田 慎也

3月 気管支喘息について

4月 喘息を克服する

5月 肺気腫について

● 労災病院周辺で見られる鳥 ●

主任薬剤師 吉村正則 「カワセミ」スズメより少し大きく、池沼などの木の枝にとまっていて、水中の獲物を捕ったり、水面を掠めて一直線に速く飛んだりしている。羽色が鮮やかで、翡翠(ひすい)のような体色から、飛ぶ宝石とも言われている。

川せみの ねらい誤る 濁かな 正岡子規



診療予定表

診療科	時間・診察室	月	火	水	木	金	
内科	午前	一診	多田	中村	多田	渡邊	中村(之)
		二診	難波	海野	難波	海野	中村(武)
		三診	塩見	水尾	吉永	塩見	吉永
		四診	野口	洲崎	岡本	野口	岡本
		五診		糖尿 石田			
	午後		糖尿 石田	呼吸器 中村(之) (再来のみ)			
循環器科	午前	曾根	渡邊	三谷	水尾	曾根	
	専門外来 午後		ペースメーカー			振動	
外科	午前	一診	鶴野	津村	香川	鶴野	津村
		二診	國土	立本	池田	村岡	勝野
	午後		呼吸器 津村	肝胆膵 香川	※乳腺 鶴野・村岡		
整形外科	午前	一診	永井	松本	横山	永井	松本
	二診	高田	高田	立花	大茂	横山	
	専門外来 午後	リウマチ外来		リウマチ外来	脊椎外来	小児外来	
形成外科	午前	田中	田中	田中	田中(午後)	田中	
脳神経外科	午前	一診	藤本	吉野	寺井	藤本	吉野
		二診	寺井	佐々原		中川	
	午後	中川(Xナイフ)			佐々原		
神経内科 メンタルヘルス科	午前	一診	中島	小山	中島	中島	小山
		二診	小山	中島	小山	小山	中島
泌尿器科	午前	一診	西	西	水野	西	西
		二診	水野	藤田		藤田	水野
産婦人科	午前	一診	川田	友國	川田	木下	友國
		癌検診	木下	木下	友國	川田	木下
	午後	産科予約検診	友國		木下		川田
	産後検診				交代制		
眼科	午前	一診	小見山	小見山	小見山	小見山	小見山
		二診	村岡	村岡	村岡	村岡	村岡
耳鼻咽喉科	午前	一診	森下	森下	森下	萩池	森下
		二診	江口	江口	江口	江口	江口
	午後			小児外来			
歯科口腔外科	午前	一診	田中	田中	田中	田中	田中
		二診				谷崎	
麻酔科(ペインクリニック)	午後	北浦・戸田	佐牟田	北浦	戸田	北浦	
ストマ外来			E T政田		E T政田		

※乳腺外来 鶴野(第1・3・5木曜日)・村岡(第2・4木曜日)

健診部

日帰りドック……………1日20名 火、水、金曜日
 一般健診……………1日20名 月、木曜日
 脳ドック……………1日1名 月、火、木曜日
 雇入時の健康診断) ……1日30名 (隔週)水曜日
 定期健康診断

海外派遣労働者の健康診断……………随時
 特殊健康診断……………随時
 振動障害健康診断……………1~3名 金曜日
 健診車による出張健診……………月~金曜日
 丸亀市住民検診 ……(6~11月)月~金曜日

※全ての健診は予約が必要です。 ※健診の曜日は変更になることがあります。

- 当院は、政府管掌健康保険生活習慣病予防健診事業の指定病院となっており、該当する方は補助を受ける事が出来ます。
- 健診の結果、二次検査が必要となった場合、内科系・乳腺外来のみ当院で予約を行っております。